

みらい

Vol.56

田名整形外科クリニック
上溝整形外科リハビリクリニック



どさんこ牧場 北海道鶴居村

スポーツマンシップ

上溝整形外科リハビリクリニック 院長 千葉昌宏



味よかったですね。

最近のスポーツ全般に感じるのですが、パワープレーに頼りがちなスポーツシーンにあつては、我々小柄な日本人は不利だと心配しています。しかし、今回のワールドカップで活躍した、小柄な選手たちの「ゲームの読み」「反応性」「俊敏さ」「チームワーク」の優秀さに感心しました。

また、トッププレイヤーのサッカーを観戦して、特に今年のワールドカップで再認識した点は「守り」でした。ディフェンスとゴールキーパーの世界レベルはすごかったですね。「攻め」の選手がクロウズアップされ、大会前から誰が得点王になるのだろうと話題でした。しかし、それらの「攻め」の選手に、シュートをさせるまい、ゴールを割らせまいと「守り」の選手たちが立ちふさがりました。しかし一方で、「攻め」の選手をターゲットにしたショッキングな事件がありました。ネイマールが脊椎骨折したのです。受傷の瞬間を観た方もいらつしやるでしょう。サッカーが徐々に激しくなっているので、すべての選手が何時怪我をしても不思議ではありません。そんな中、ネイマールは後方から腰背部に膝蹴りを受けて倒れました。このような怪我は残念です。

スポーツマンシップで子供たちに伝えたい重要なことは、「相手を尊敬する」ことです。具体的には、「強い相手」に挑戦して勝てるように努力する。試合が終わったら勝つても負けても、「また挑戦したい」「また試合をしたい」と思う気持ちの大切さを伝えたい。試合に勝つことは相手を壊すことではありません。試合中に悪態をついてしまうこともあります。しかし「自制心」と「思いやり」をもつて、スポーツできることに「感謝」したいと思います。

学会に参加して

理学療法士 岡村 俊



今回私は、7月20～21日に仙台で行われた日本臨床整形外科学会に参加してきました。この学会は全国から多くの医師、理学療法士などが参加し、様々な講演、発表を聞くことができます。そこで上溝整形外科リハビリクリニックの千葉院長と私が演題発表をしました。私は学会発表が今回初めてで、準備から多くの人の協力を得て、当日は非常に緊張しながらでしたが、無事発表を終えることができました。

学会の様子ですが、テーマの一つに高齢化に伴う骨粗鬆症というものがありました。秋田県を筆頭に東北は日本有数の高齢化地域です。骨粗鬆症は骨が弱くなっている状態で、背骨の骨折や手首の骨折などになりやすく、今流行のロコモティブシンドローム（運動器症候群）にもつながります。

ロコモティブシンドロームは寝たきりや要介護などに関与するため、その対応がとても重要になります。講演の一つに骨粗鬆症の方に対して薬を服用することと運動を行うことで、姿勢の改善、骨折の発生頻度を減らすことができるとのことでした。

仙台での開催ということで、東日本大震災についてのシンポジウムも開かれました。震災直後の

病院の状態や実際に来院した方にどのように対応したのかなど、神奈川県に住んでいる私には想像できないような話を聞くことができました。今でも地域によっては医師の数が不足しており、完全には元の状態に戻っていないようです。学会会場は仙台駅付近でしたが、駅周辺は整備されており、震災の影響が見られませんでした。しかし今後も忘れてはいけない出来事だと思いました。

最後になりますが、全国学会で発表する機会をいただいて非常に勉強になりました。これからも学会参加や、知識を深めることで患者様により良いリハビリテーションを提供できるように、リハビリテーション科一同頑張っていきたいと思います。



学会会場

撮影者の声

道東の短い夏が終わると、動物も植物も長い冬に備える準備をはじめます。

訪問リハビリテーションを始めました。詳細につきましてはお問い合わせ下さい。



医療法人未来

田名整形外科クリニック

TEL:042(761)7000

上田名交差点より大島方向400m
水曜午前は、内科医師による診療もしております

上溝整形外科リハビリクリニック

TEL:042(786)7700

駅より1分、かみみぞクリニックビル3F

<http://www.mirai-med.or.jp>

